

# デジタルもぐらのラジオ受信環境について

付属の専用ロッドアンテナを必ず受信状態を確認してください。

ロッドアンテナでは良好な受信状態が得られない場合は、FM 専用アンテナを接続し受信状態を確認してください。

チャイム音検出は FM 放送が正常な状態(放送が明瞭に聞こえ、雑音の無い状態)で受信できないと検出機能が働かない場合があります。アンテナの設置には充分注意をはらってください。

アンテナは図のような FM 専用アンテナを外部に取り付けることが望ましいです。

図のようなアンテナであれば放送局の方角へ向けてアンテナを設置してください。

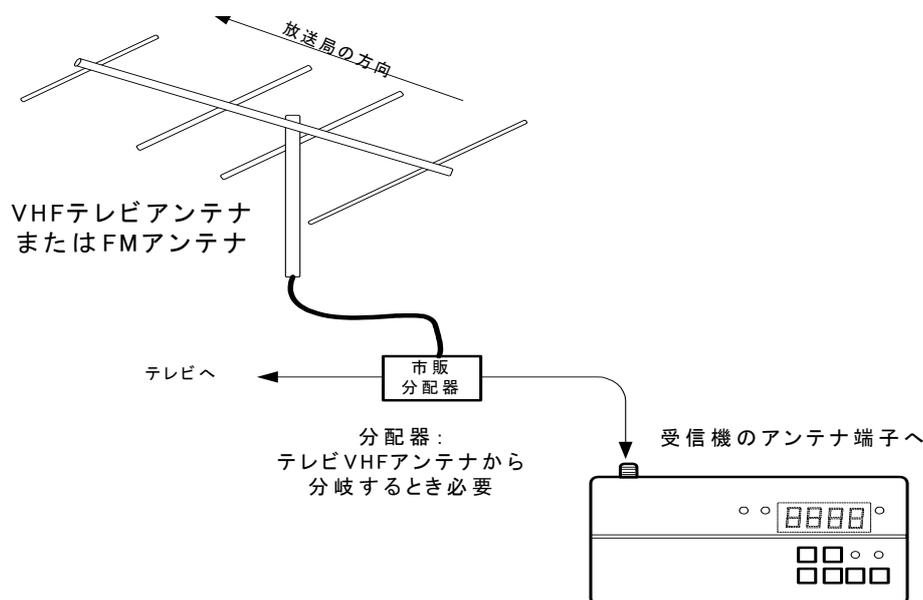
\*従来の VHF アナログテレビのアンテナが設置されていれば、市販の分配器から接続することができます。

\*地上波デジタルのテレビのアンテナは周波数が違うので使用できません。

\*ケーブルテレビが敷設されていれば、FM 放送が聴ける場合があります。

(ケーブルテレビでは周波数が違うことが多いのでケーブル局にお問い合わせください。)

\*放送局が近くで、外部のアンテナが利用できないときは、室内アンテナも利用できますが、人が移動したときなどに、受信状態が変わる場合がありますので、十分注意してください。



・アンテナ端子の締め付けは[7Kg・cm]以下の力で締め付けを行って下さい。

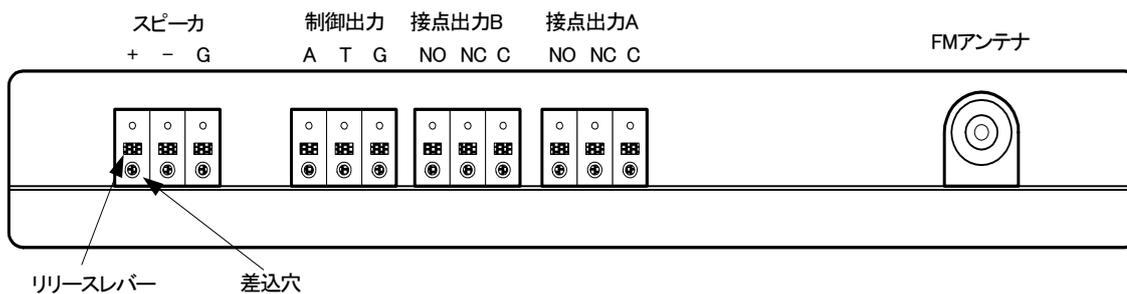
7Kg・cm 以上で締め付けるとコネクタが破損する場合があります。

スパナの根元を軽く持ち軽く締め付けてください。

・ロッドアンテナの時は、最適なアンテナの角度を決定後にスパナで軽く締め付けてください、

アンテナを曲げた状態でアンテナを持って締め付けしないでください思わぬ力が掛かってしまいます。

# デジタルもぐらの外部接続について



## 【スピーカ端子】

端子名	説明
+	スピーカの出力端子(+) 外部アンプ使用時:「G」と「+」を外部スピーカアンプに接続します
-	スピーカの出力(-)
G	グラウンド端子。スピーカは接続しないでください。

## 【制御出力】

制御出力はオープンドレインで出力され、外部の LED または信号用リレーをドライブできます。

出力は警報出力と試験放送出力です。

制御出力 A は緊急警報放送と緊急地震速報で ON になります。

制御出力 T は緊急警報放送の試験放送で ON になります。

またスピーカあるいは外部アンプに接続するための出力が設けています。

緊急警報放送・試験放送受信時に制御信号出力をオープンドレインで出力します。

最大印加電圧:24V      最大電流    :200mA

端子名	説明
A	OFF:通常状態 ON :緊急地震速報または緊急警報放送を受信時 注:電源投入・切断時に ON になることがあります。
T	OFF:通常状態 ON :試験放送受信時 注:電源投入・切断時に ON になることがあります。
G	グラウンド端子

出力として接点出力が A,B2組あります。

接点出力 A は緊急警報放送が受信されたとき ON になります。

接点出力 B は緊急地震速報が受信されてとき ON になります。

また接点出力 A は背面のディップスイッチのビット7の設定で緊急地震速報と緊急警報放送のとき ON にすることができます。

#### 【制御出力 A】

緊急地震速報受信または緊急警報放送時にリレーが駆動されます。

最大印加電圧:30V 最大電流 :500mA

端子名	説 明
NO	通常時:C と NO 間 オープン(開放) 緊急警報放送時:C と NO 間 クローズ(接続) ただし背面のディップスイッチのビット7が ON のときは 緊急地震速報でもクローズします。 注:電源投入・切断時にクローズすることがあります。
NC	通常時:C と NC 間 クローズ 緊急警報放送時:C と NC 間 オープン ただし背面のディップスイッチのビット7が ON のときは 緊急地震速報でもオープンになります。 注:電源投入・切断時にオープンになることがあります。
C	コモン

#### 【制御出力 B】

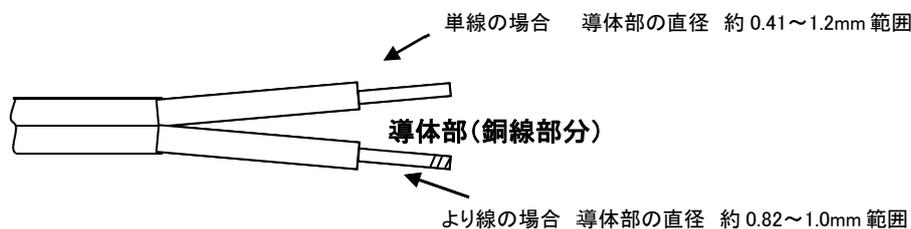
緊急地震速報受信時にリレーが駆動されます。

最大印加電圧:30V 最大電流 :500mA

端子名	説 明
NO	通常時:C と NO 間 オープン 緊急地震速報受信時:C と NO 間 クローズ 注:電源投入・切断時にクローズすることがあります。
NC	通常時:C と NC 間 クローズ 緊急地震速報受信時:C と NC 間 オープン 注:電源投入・切断時にオープンになることがあります。
C	コモン

# 放送設備との接続について

## ①接続に使う線を用意する（より線、単線どちらでも OK です）



## ②放送設備(接続先)の接点容量を確認してデジタルもぐら接点容量を超えていないことを確認する

デジタルもぐら接点容量	接点出力 A	30V 500mA
	接点出力 B	30V 500mA
	制御出力	24V 200mA

これ以上の電圧、電流が接点に流れるとデジタルもぐらは故障します。  
また、制御出力には保護回路がついていないので十分注意してご使用ください。  
(容量を超えている場合はリレー回路などで対応してください)

## ③放送設備(接続先)の音声入力が入力できるか確認する

デジタルもぐら音声出力 モノラル 0dBm/600Ω 不平衡（微調整可能です）

\* 以下④以降、パターンにより設定が異なります。

### 【パターン 1】緊急地震速報のみ起動

## ④デジタルもぐらの接点出力 B (C、NO) のリリースレバーを押しながら差込穴に放送起動用の線を挿入してください。

\* 外すときもリリースレバーを押しながら外してください

## ⑤デジタルもぐらのスピーカーコネクタのリリースレバーを押しながら差込穴にスピーカー線を挿入してください。

\* 外すときもリリースレバーを押しながら外してください

## ⑥放送設備と接続する。(デジタルもぐらディップスイッチは出荷時の設定)



## 【パターン2】津波警報、東海地震警戒宣言のみ起動

④デジタルもぐらの接点出力 A(C、NO)のリリースレバーを押しながら差込穴に放送起動用の線を挿入してください。

\* 外すときもリリースレバーを押しながら外してください

⑤デジタルもぐらのスピーカーコネクタのリリースレバーを押しながら差込穴にスピーカー線を挿入してください。

\* 外すときもリリースレバーを押しながら外してください

⑥放送設備と接続する。(デジタルもぐらディップスイッチは出荷時の設定)



## 【パターン3】緊急地震速報、津波警報、東海地震警戒宣言で起動

④デジタルもぐらの接点出力 A(C、NO)のリリースレバーを押しながら差込穴に放送起動用の線を挿入してください。

\* 外すときもリリースレバーを押しながら外してください

⑤デジタルもぐらのスピーカーコネクタのリリースレバーを押しながら差込穴にスピーカー線を挿入してください。

\* 外すときもリリースレバーを押しながら外してください

⑥デジタルもぐらディップスイッチは出荷時の設定を変える。(7番をONにする)

⑦放送設備と接続する。

### 出荷時の設定から変更



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション  
総合窓口 電話 059-223-7774

<http://www.jjnet.com/>

J-120401